

平成30年度
立正大学文学部
公開講座

氾濫する情報の接し方

「フェイク(偽)ニュース」という言葉をよく耳にするようになった。真偽が定かでないニュースがネット空間などに蔓延し、世論に影響を与えていく。一体どの情報を信じたらいいのだろうか。活字、放送、ネットの実務者や研究者から、よりよい情報の接し方を学ぶ。

第1回 10月3日(水)
18時～19時30分

青木 理

ジャーナリスト、ノンフィクションライター

右傾化の時代における
情報の見分け方

第2回 10月10日(水)
18時～19時30分

熊田佳代子

NHK「ハートネットTV」編集長
立正大学社会福祉学部非常勤講師

情報による“分断”をどう防ぐか
～福祉番組の視点から～

第3回 10月17日(水)
18時～19時30分

浅岡隆裕

立正大学文学部社会学科准教授、メディア・コミュニケーション論

“情報過多時代”、今何が問われているのか

情報の接し方

第4回 10月24日(水)
18時～19時30分

藤村厚夫

スマートニュース株式会社フェロー
株式会社アスキーで月刊誌の編集長などを務める

SmartNewsから見える
インターネットをめぐる課題
～フェイクニュース・低品質コンテンツ、
フィルターバブルを考える～

第5回 10月31日(水)
18時～19時30分

徳山喜雄

立正大学文学部社会学科教授、ジャーナリズム論

情報の嘘を見抜くために

接し方

募集期間 8/21(火) — 9/14(金)

対象—16歳以上の方

定員—300名

受講料—無料

会場—立正大学品川キャンパス 石橋湛山記念講堂
(大崎駅・五反田駅より徒歩5分)

共催—立正大学文学部、品川区

※1回のみでもご参加いただけます。
※本学学生・教職員は申し込み不要です。
※参加申し込みにより提供いただいた個人情報
は本講座の運営のみに使用いたします。

問い合わせ先

品川区文化観光課 生涯学習係
TEL 03-5742-6837

立正大学文学部事務室
TEL 03-3492-8791

詳細は立正大学公式ホームページでも
ご確認いただけます。

<http://www.ris.ac.jp/> 立正大学 検索

「モラリスト×エキスパート」を育む。

立正大学

平成30年度
立正大学文学部 公開講座

氾濫する情報の接し方

氾濫する情報の接し方

共催 立正大学文学部、品川区

第1回 10月3日(水)

右傾化の時代における情報の見分け方

現在の言論状況はリベラルと保守に二極化し、メディアの亀裂は深まるばかりだ。意見の対立は昔からあり、多様な意見があるのはいいことだが、いまはお互いが言いつばしで聞く耳をもたないという不毛ともいえる状況がある。どのように新聞やテレビ、インターネットなどに接し、情報をとってあげればいいのか。



青木 理

ジャーナリスト、ノンフィクションライター

1966年長野県生まれ。90年、慶應義塾大学卒業後、共同通信で社会部記者、ソウル特派員などを経て2006年からフリーランス。テレビコメンテーターとしても活躍。著書に『日本の公安警察』『抵抗の拠点から』『トラオ 徳田虎雄 不随の病院王』『日本会議の正体』『安倍三代』『情報隠蔽国家』など。

第2回 10月10日(水)

情報による“分断”をどう防ぐか～福祉番組の視点から～

2年前に起きた相模原障害者施設殺傷事件や相次ぐ通り魔的犯行、虐待事件など痛ましい出来事が起こる度に、ネット上には加害者や被害者への中傷や不確かな情報が溢れます。社会の分断が進む中で、それぞれの‘生きづらさ’に目を向け再結合することはできるのか？福祉番組の果たす役割や情報発信について考えます。



熊田佳代子

NHK制作局 文化・福祉番組部 チーフ・プロデューサー

東京外国語大学卒業後、NHK記者、CNNライターを経てフリーランスのディレクターとなり、民放やNHKで番組制作。福祉分野の取材を多く手がけた後NHKに再入局し、現在は福祉番組の統括プロデューサー。デイリー番組「ハートネットTV」(Eテレ)をはじめ「ETV特集」や「クローズアップ現代」などを制作している。

第3回 10月17日(水)

“情報過多時代”、今何が問われているのか

インターネットが普及し「情報大爆発」が起こっています。情報がたくさん得られること自体は歓迎すべきことですが、身近な事柄についても情報が溢れかえり、個々の情報の信頼性は自分で判断しなくてはならない事態になっています。地域社会でのコミュニケーション空間における情報流通のあり方や問題点について考えます。



浅岡隆裕

立正大学文学部准教授

立教大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学(社会学修士)。広告会社マーケティング部門において市場調査、コミュニケーション戦略立案に携わった後、立教大学社会学部助手を経て、2005年4月より立正大学文学部専任講師、2010年4月より准教授。2012年英国レスター大学メディアコミュニケーション学部客員研究員。

第4回 10月24日(水)

SmartNewsから見えるインターネットをめぐる課題

SmartNewsは、メディア各社が創造する記事や作品を数多く扱う「ニュースアプリ」です。多くのニュースを扱うことから、意図された、もしくは意図せずニセ情報が含まれることがあり得ます。現在、フェイクニュースや低品質コンテンツはどうして創り出されるのか、有効な対策とは、テクノロジーを中軸として論じます。



藤村厚夫

スマートニュース株式会社フェロー

1978年法政大学経済学部卒業。90年代に、株式会社アスキー(当時)で書籍・雑誌編集者、日本アイ・ビー・エム株式会社でマーケティング責任者を経て、2000年に株式会社アットマーク・アイティを起業。その後、合併を経てアイティメディア株式会社代表取締役会長、スマートニュース株式会社 執行役員などを歴任。

第5回 10月31日(水)

情報の嘘を見抜くために

新聞、放送、ネットなどに情報があふれる。それらを鵜呑みにしていないだろうか。いつのまにか偏った見方や考え方が擦りこまれていつの間にかかもしれない。あるいは、質の悪い商品が良いものと思ひ込み、高い値段で買っているかもしれない。昨今の言論状況を踏まえ、情報とどのように付き合っていけばいいのか、考える。



徳山喜雄

立正大学文学部教授

1984年朝日新聞入社。写真部次長、「AERA」フォト・ディレクターなどを経て、2016年に退社。新聞社では東欧革命や旧ソ連邦の崩壊など共産圏を取材。現在はジャーナリズム論、写真論が専門。著書に『新聞の嘘を見抜く』(平凡社新書)、『安倍官邸と新聞』(集英社新書)、共著に『新聞と戦争』(朝日新聞出版)など。

公開講座申し込み方法

募集期間—8月21日(火)～9月14日(金)

対象—16歳以上の方

定員—300名

受講料—無料

※1回のみでもご参加いただけます。
※本学学生・教職員は申し込み不要です。
※参加申し込みにより提供いただいた個人情報は本講座の運営のみに使用いたします。

応募方法1 ●往復はがき

①講座名「立正大学文学部公開講座」 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥連絡先電話番号を明記し、下記申込先へお送りください。

申込先 〒140-8715 品川区広町 2-1-36 品川区文化観光課 生涯学習係 宛

応募方法2 ●webでの申し込み

品川区ホームページの電子申請ページからも申請できます。



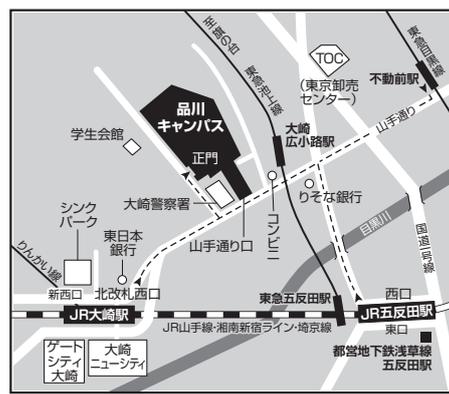
往信用(おもて) 返信用(うら)

往信 140-8715 品川区文化観光課 生涯学習係 宛
返信 ※返信ハガキの裏面は何も記入しないでください。

返信用(おもて) 往信用(うら)

返信 郵便番号 申し込み方の住所
往信 ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥連絡先電話番号

立正大学品川キャンパス



問い合わせ先

品川区文化観光課 生涯学習係 TEL 03-5742-6837 立正大学文学部事務室 TEL 03-3492-8791

詳細は立正大学公式ホームページでもご確認ください。 <http://www.ris.ac.jp/> 立正大学 検索

「モラリスト×エキスパート」を育む。

立正大学